

価値創造プロセス

パーパス
(私たちの存在意義)

持てるすべてを「いのち」に向けて。

～ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食

パーパス実現のための重要課題 **P.29**

● 脱炭素社会の実現 ● 自然と共生する社会の実現

インプット/経営資本

自然資本

- 農林水産業が基盤とする豊かな地球環境と生態系サービス

社会・関係資本

- 全国の農林水産業協同組合ネットワーク
 - ▶ 会員数:3,181団体
- 投融資先とのリレーション

設備資本

- 国内外の拠点と金融インフラ
 - ▶ 国内19・海外4拠点、海外現地法人3社

財務資本

- 強固な健全性
 - ▶ 普通出資等Tier1比率:17.70%
- 安定的な預金基盤
 - ▶ JA貯金・JF系統貯金残高:109.8兆円

知的資本

- 100年の歴史で受け継いできたナレッジ

人的資本

- 多様な思考を持った専門性ある人材
 - ▶ 従業員数:3,273人

事業戦略と事業活動

中期ビジョン(2030年のありたい姿) **P.31**

地球環境・社会・経済へのインパクト創出

農林水産業・地域の持続的な発展

デジタルとリアルの最適融合による組合員・利用者への価値創造

会員への安定的な収益・機能還元の発揮

変化に挑戦し続ける柔軟で強靱な組織の実現

事業活動を通じて
ありたい姿を実現



ありたい姿の実現
に向けた事業活動

農林中央金庫のビジネス領域

食農ビジネス **P.37**

リテールビジネス **P.41**

投資ビジネス **P.45**

3つのビジネスを支える

コーポレート

主な取組み

人材マネジメントの
高度化に向けた
取組み **P.59**

デジタルトランス
フォーメーション
(DX) **P.67**

サステナブル経営の取組み **P.49**

組織のアウトプットは経営資本にも還元

* 記載の実績等については2024年度末または2024年度中のものです。

とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます～

- 農林水産業の“稼ぐ力”の強化
- 強靱な食料システムの実現
- 国内外での“豊かな”くらしの実現

アウトプット(事業活動により生み出す成果)

地球環境・社会・経済

- サステナブル・ファイナンス
 - ▶ 新規実行額:9.0兆円
- 投融資先へのエンゲージメント
- 持続可能な農林水産業への支援

農林水産業・地域

- 農林水産業者・食農バリューチェーン企業等への円滑な資金供給・事業支援
 - ▶ JAバンクの農業関連融資残高:2.4兆円
 - ▶ 当金庫・グループ会社を通じた成長資金供給額(出資):1,152億円
- 担い手へのコンサルティング活動
 - ▶ JAバンクの担い手コンサルティング:1,142件
 - ▶ コンサルティング導入先の付加価値向上寄与額:前年度比+4.9%

組合員・利用者

- JAバンク・JFマリンバンクの総合事業性・金融仲介機能発揮への支援

収益・機能還元

- 市場・信用ポートフォリオ運営、貸出ビジネス、資産運用ビジネスの深化による収益確保・会員への収益還元

組織

- 組織内のエンゲージメントスコア向上(55%)
- 組織内外で活躍できるプロフェッショナルの形成
- DX推進による生産性向上
 - ▶ DX人材数:延べ186人
- 経営システム・ガバナンス高度化

アウトカム(社会へ還元する価値)

星のいのち(地球)



ネットゼロ・ネイチャーポジティブ

- 脱炭素社会へのトランジション加速
- 自然・生物多様性の保全・回復

生物のいのち(食べ物)



持続可能な食料システム

- 農林水産業者の所得向上
- 食農バリューチェーンの強靱化
- 農林水産業を支える会員の経営基盤強化

人のいのち



人々のウェルビーイング

- 安心・安全な食を届けることへの間接的な貢献
- 総合事業性を活かした金融仲介機能発揮によるくらしの充実化・地域の活性化

いのちの連鎖 P.28